

1.計画名称

茅野市水道ビジョン(水道事業特別会計)

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	管路の耐震化については、老朽管布設替工事等を進めているので耐震化率は少しずつではあるが増加している。配水池については、夢科第6配水池の築造工事が完了し供用開始しており、耐震化率も増加した。今後も茅野市上水道事業基本計画を進める。
今後の重点化施策番号	2	説明	老朽管の増加や巨大地震に備えて、水道施設の布設替や地震対策は急務となっている。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	安全:安全でおいしい水の供給	おおむね順調	日頃からの水源の適切な管理と保安が重要なため、各施設の草刈等保安実施ができた。また、月1回の施設点検も実施することができた。	クリプト対策は有効であると考えるが、高価なため、引き続き導入についての時期等計画的な検討を進める。	引き続き、価格検討と、クリプトに代わる安価な処理方法の模索が必要。また、今後は有機フッ素化合物の水質検査を行う予定。
2	強靱:災害に強く強靱でしなやかな水道	おおむね順調	・基幹管路については、昨年度の引続きで配水管工事を実施。 ・基幹配水池については、御狩野配水池実施設計中。	管延長及び老朽管延長が長い。ため、全管を整備するには年数が必要であり、今後は法定耐用年数を超える管路が増える傾向にある。	老朽管が今後多くなることが予想されることから、上水道単独工事のみではなく、他事業との計画を整合することで、よりコスト削減を図り事業費をおさえていく必要がある。
3	持続:将来に続く持続可能な事業運営	おおむね順調	継続して一定の利益を確保することができた。基幹となる配水池の築造工事を予定とおり進めることができた。	継続して一定の利益を確保することができたが、電気料金の高騰等により、純利益は減少傾向にある。引き続き、水道施設の老朽化や耐用年数等を踏まえて、配水池の更新等、計画的に行う必要がある。	令和2年度に策定した「茅野市上水道事業基本計画」を基に計画的に事業を進めるとともに、財源確保に努めていく。
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

主な意見		市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		